

三松中学校図書館だより 3月号



三月の和風月名「弥生（やよい）」。「木草弥生い茂る（きくさいやおいしげる）月」が省略されて「弥生（いやおい）」となり、それが詰まって「弥生（やよい）」になったというのが由来として代表的なものです。「弥（いや）」はいよいよ、「生（おい）」は生い茂る、のように草木の芽吹きを意味しています。寒さもあと一息、これから桜が咲くのがたのしみですね。

★2月のベストリーダー

第1位	3A	高佐みのりさん	67冊
第2位	3B	鳥越 美帆さん	57冊
第3位	2A	上山 智大さん	52冊
第4位	1B	横山 聖羅さん	51冊
第5位	3A	古賀咲希斗さん	49冊
第6位	1A	福田 竜正さん	44冊
第7位	2B	佐藤 樂和さん	41冊
	2B	高野 由衣さん	41冊
第9位	2B	富井 祐多さん	39冊
第10位	1A	仁科 琉彩さん	38冊

★2月のベストブック

第1位	友麻碧『鳥居の向こうは、知らない世界でした。』 吾峠呼世晴『鬼滅の刃 しあわせの花』
第3位	J.K.ローリング『ハリーポッターと炎のゴブレット4-Ⅱ』 凧良ゆう『滅びの前のシャングリラ』
第5位	J.K.ローリング『ハリーポッターと炎のゴブレット4-I』
第6位	PHP研究所『ラストで君は「まさか!」と言う 切なすぎるキュン』 芥見下々『呪術廻戦 夜明けのいばら道』 古館春一『ハイキュー!! 才能とセンス』 浅倉秋成『六人の嘘つきな大学生』 星ひとみ『星ひとみの天星術』



2022年三松中学校図書館大賞

三松中学校の生徒に一人一冊【三松中学校図書館にある本の中で、読んだことがあって「面白かった」「ほかのひとにも薦めたい」「買おうかな」と思った本】を投票してもらい、決定しました！

第1位(14票) PHP 研究所『ラストで君は「まさか!」と言う』シリーズ

短編小説ですきま時間に読める。
また、最後の結末を予想しにくいため、素直に面白いな、と思った。(1年)
この1冊の中にいろいろな物語がたくさんあり、その1つ1つがとてもおもしろくすぐに「ハマる」本です。(2年)
1つ1つの話が短くて、読みやすい。また、いろんな物語があっておもしろく、ほかのシリーズが読みたくなる。(2年) 短編小説だから、読みやすい。「まさか!」ってなる。(3年)

第2位(10票) 桃戸ハル『5分後に意外な結末』シリーズ

恋、友情、勉強いろんな系統があって、恋や友情などは女子の方におすすめです!(1年)
少ない時間で読めて、1冊に何話もあるので読んでいてあきなかった。(2年)
1話がすぐに終わるし、予想できない展開やみつきになる。内容が分かりやすく、気持ちや、思いが伝わりやすい。(2年)
毎回意外な展開になる。(3年) 短編集で読みやすく、驚くような結末の話が多くて面白い。(3年)

藤子・F・不二雄『DORAEMON』シリーズ

つづきがきになったりして、おもしろい。(1年)
まんがで、文字が英語になっているが、文字の上に日本語が書かれていてとてもおもしろい。(1年)
英語と日本語があって読みやすい。(1年)
英語と日本語がどちらも学べて面白く知識がふえる。(1年)
この本はマンガだけど英語で書いてあり、ちゃんと日本語も書いているので、英語を覚えながら楽しめる。(1年)

シリーズものに人気集中!

年間を通して貸出回数も多いシリーズものが、三松中学校図書館大賞でも安定して票をあつめました。特に1位の『ラストで君は』シリーズは1、2年生の、2位の『5分後』シリーズは2、3年生の、『DORAEMON』シリーズは1年生の人気集中しました。まだ読んだことがないひとはぜひ、読んでみてくださいね。また、生活の記録『三松魂』『図書室の利用について』いちばん下に書かれている【「これが自分の愛読書」と呼べる本】と出会えたひとが多いのでしょうか、票が1しか入らなかった本も多数ありました。それもまた、うれしいことですね。

令和3年度最後の貸出3月11日(金)

蔵書点検のため3月14日(月)~16日(水)返却強化期間です。

期間内の完全返却をお願いします。なお、貸出再開は来年度4月以降となります。

第4位(7票) 氏田雄介『54字の物語』シリーズ

54字と限られた短い文字数で予想外の結末になるのがとてもおもしろい。(1年)
誰でも理解できるような簡単な文でおもしろい。(2年)
1つの話が短く、気軽に読め、解説を読む前に自分でどういう意味なのかを考えるのが楽しい。(3年)
54字で物語が書かれているからわずかな時間でも読みきることができるのでおすすめです。(3年)

第5位(6票) コムドットやまと『聖域』

やまとくんの、知らないところが、書かれて、おもしろかった。(1年)
その人がどのように生きてきてどのように成功したかが書いてある。(3年)
自分の努力の話などが書かれているため、さんこうにできたりする所がある。(3年)
成功体験を裏付ける内容やコムドットやまととしての回答などが書いていてオススメの本。(3年)
おもしろい。(3年) 生き方。(3年)

第6位(4票) 今泉忠明『ざんねんないきもの事典』シリーズ

たくさん生き物のざんねんなことがかんたんに書いてあるのでおもしろくて分かりやすい。(1年)
色々な動物がおもしろいことやかわいそうなところをかいていてとってもおもしろい。(2年)
TVアニメにもものってる生き物もいるので嬉しいです。(3年)

伏瀬『転生したらスライムだった件』

すごく面白く、印象に残った。(1年)
いろいろな登場人物の視点でかかっている。おもしろい。(1年)
展開がおもしろくてあきない。一番好き。(1年)

堀越耕平『僕のヒーローアカデミア』

本の表紙がとてもキレイでアニメには載っていないバレンタインや物語があっっておもしろいです。(2年)
ヒロアカのキャラの裏話や、原作では見られない話がたくさん載っているから。アニメを見てから読むと、けっこうハマると思います。(2年)

小坂流加『余命10年』

人のあたたかさや命の尊さを感じられる。(3年)
余命10年と言われた女性の10年間のエピソードが感動する。(3年)
シンプルな設定に多くの人が関わって主人公の気持ちの変化、場面の展開がよく読み取れる文章でとても読みやすかったから。自分はあまり恋愛ものは最後まで読みきることがないが、この本は興味をそそられ最後まで読みきれた。(3年)

第10位(3票) クレハ『鬼の花嫁』

読んでいてキュンキュンする。話のつながりがおもしろい。(2年)
現実ではあり得ない内容で、現実ではないからこそこんな展開なんだと楽しく読むことができる。(2年)

宇山佳佑『桜のような僕の恋人』

読んでいくうちに書名にある「桜のような」という意味がわかってすごく感動した。(2年)
内容がありきたりでなく、今までに見たことのない話だったので、読みすすめるたびに内容が気になって、1日で読みきってしまった。(3年) 泣けるくらい感動した。(3年)

瀬尾まいこ『そして、バトンは渡された』

父や母が変わっても、それぞれの親から愛をもって育てられた主人公の心情が細かい表現で良い。(2年)
賞をとっていたり、映画化されていたりと有名で読みやすい。(3年) 家族の心温まる物語。(3年)

松丸亮吾『東大ナゾトレ』

色々なナゾがあり、ナゾを解くのが面白かった。(2年)
気分てんかんに、頭をやわらかくして、読める。(3年) 頭をつかう。(3年)

柴田ケイコ『パンドロぼう』

パンドロぼうはパン屋のおじさんにさとされてパン職人になった。パンドロぼうがつくったパンをにせパンドロぼうに盗まれて取り返しに行くところが面白かった。(2年) おもしろい。(2年)

香月美夜『本好きの下剋上』

日本での常識と異世界の常識にとまどいながらも、大好きな本を広めようと努力しているところがおもしろい(2年) 本が好きな私に共感できる場所があった。(1年)

(2票)『52ヘルツのクジラたち』『medium 霊媒探偵城塚翡翠』『orange』『Re:ゼロから始める異世界生活』『The Book』『アリス殺し』『インフィニットデンドログラム』『うちの猫がまた変なことしてる』『エネルギー危機サバイバル』『血液型自分の説明書』『告白』『ごぐまのケーキ屋さん』『ハイキュー!!』『フェルマーの最終定理』『木曜日にはココアを』『もしもアンテナ』『元彼の遺言状』『りんごかもしれない』

(1票)『1%の努力』『100万回生きたねこ』『あと少し、もう少し』『えんとつまちのプペル』『君の臍臓をたべたい』『交換ウソ日記』『願いながら、祈りながら』『浜村渚の計算ノート』『ピンクとグレー』『ぼくモグラキツネ馬』『空から逃げた100歳老人』『メンタル強め美女白川さん』『容疑者Xの献身』『流浪の月』『わたしの幸せな結婚』など

アンケートへのご協力、ありがとうございました。